

## 2018ハ王子ロングディスタンス

### 【大会概要】

開催日時 : 11月24日(土)

出場種目 : 10000m

会場 : 法政大学多摩校地陸上競技場

出場者 : 親崎 達朗 (電装管理部・生産管理課)

リザルト (LAP) :

Lap	親崎		
出場種目	10000m2組(F)		
1000m	2' 53" 0	6000m	17' 31" 2
2000m	5' 46" 0	7000m	20' 26" 0
3000m	8' 40" 1	8000m	23' 26" 5
4000m	11' 34" 7	9000m	26' 25" 0
5000m	14' 32" 0	10000m	29' 18" 15
順位	13位/34人中		

レポート :

本大会は、東日本実業団連盟が主催する大会で、全国から強豪実業団選手が出場するハイレベルのレースとなります。先日シカゴマラソンで日本記録(2時間5分50秒)をマークした大迫選手も練習の一環で出場しており、会場である法政大学キャンパス内にある陸上競技場は一般の陸上・長距離ファンで溢れる状況でお祭りのような雰囲気の中でレースが開催されました。当社チームからは自己ベストを狙い新人の親崎が出場をしました。



当日は晩秋の日差しが注ぐ中、長距離ランナーにとっては絶好のコンディションでのスタートとなりました。親崎の出場した 10000m2 組 (F) はペースメーカーが 28 分 50 秒 (2 分 53 秒/km 平均) を設定タイムとしており、自己ベストが 29 分 26 秒の親崎にとっては少し速いレースペースでしたが自己記録を狙って積極的に先頭集団についていきました。

ペースメーカーが的確なペースを刻む中、第 3 集団の後半に位置し 5000m を 14' 32" と自己ベスト (14' 29") と遜色ないペースで通過すると、後半の 5000m も前方集団から落ちてくる選手を次々に抜き去り、ラスト 1000m のスパートも冴え自己ベストとなる 29' 18" 15 をマークしました。この記録は当社でも歴代 3 位にあたる記録で非常に価値のある結果となりました。

今季は出場するレース全てに対して実力を発揮している親崎ですが、これは彼が日々競技に取り組む姿勢そのものであり、チーム全体としても競技に対する姿勢を改めて見直しチーム力強化に繋がりたいと思います。

今後とも、皆様の温かいご声援を宜しくお願い致します。



渾身のスパートでゴールへ。



自己新記録おめでとう！！